



史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

No.8

聖ラファエラ・マリアの命日



2024年12月 中野渡俊治教授撮影

1月6日は本学の設立母体である聖心侍女修道会の創立者、聖ラファエラ・マリアの命日にあたります。また、2025年は聖ラファエラ・マリア帰天100年目にあたります。聖ラファエラ・マリアは聖心侍女修道会の4人のシスターズが来日する9年前の1925年1月6日夕方の6時に75歳で帰天しました。膝をついて祈りを続けたため、70歳を過ぎたころに膝に傷ができ3度も手術を受けましたがよくなり、膝蓋骨炎を苦しみぬいての最期でした。

亡くなった時にご遺体を運んだシスターの手記には、聖ラファエラ・マリアの死後の姿は生前よりも美しかったと記録されており、12年間の土葬後もその姿は変わらず、1938年5月18日にイタリア、ローマのヴェンテ・セテンブレ教会（聖心侍女修道会修道院本部の聖堂）のガラスの柩に安置されました。

この教会で、現在も美しいお姿のままの聖ラファエラ・マリア様にお会いすることができます。

1枚目の写真はイタリア、ローマのヴェンテ・セテンブレ教会のガラスの柩に安置されている聖ラファエラ・マリアのご遺体です。大変美しい姿で、絵のようにも見えますが写真です。

2枚目と3枚目は聖ラファエラ・マリアの前で教皇フランシスコが祈っている2017年1月2日の写真です。



聖ラファエラ・マリアのご遺体の前で祈る教皇フランシスコ（2017年1月2日）
（『いしずえ』（下）より）



聖ラファエラ・マリアのご遺体の前で祈る教皇フランシスコ（2017年1月2日）
（清泉女子大学Facebookより）

教皇フランシスコのヴェンテ・セテンブレ教会訪問の経緯は下記リンク先をご参照ください。

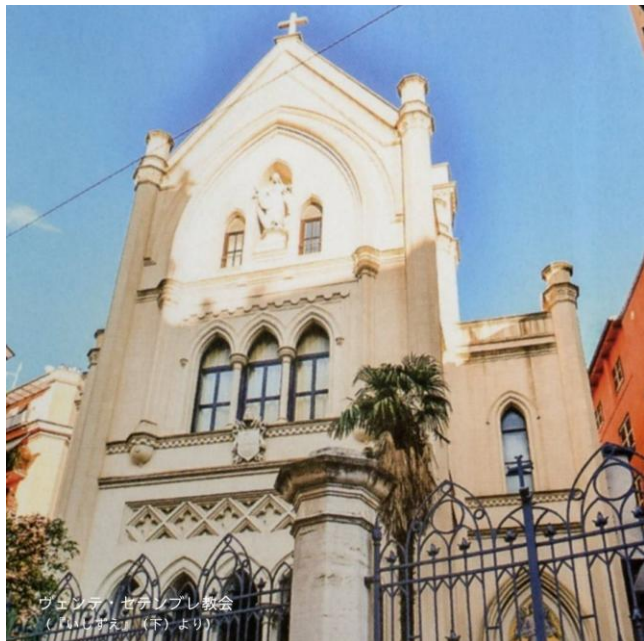
清泉女子大学 Facebook

<https://www.facebook.com/SeisenUniv/posts>

聖ラファエラ・マリアについて詳しくお知りになりたい方は下記リンク先をご参照ください。

聖心侍女修道会日本管区

<https://acijapan.jp/founder/>



本年も史料室では清泉女子大学の歴史にまつわる様々な情報を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「史料室だより」は清泉女子大学公式Instagramにて連載中です。